

男性のための介護講座

既にご案内致しておりますように、まごころサービス尾張センターでは、男性の介護参加の必要性にかんがみ、次のように男性を対象に介護講座を開催致します。

日程 平成8年3月19日(火)22日(金)26日(火)
 時間 午前10時～午後3時
 内容 基礎的介護の講義と技術(シーツ及び寝間着交換・清拭・洗髪・排泄介助・痴呆について等)
 講師 日本赤十字社愛知県支部
 参加費 1,000円
 会場 一宮スポーツ文化センター3階第5研修室

ふるって参加下さい

2月の予定

- 1日(木) 会報「まごころ尾張」発行
 -宮寮ボランティア 松本、木村
 アウン・デイケアセンター研修 水野、山田
- 5日(月) 定例会 思いやり会館
- 6日(火) アウン・デイケアセンター研修 浅菜、安福
- 7日(水) 運営委員会
- 8日(木) -宮寮ボランティア 宮田、横井
 アウン・デイケアセンター研修 村松、平田
- 10日(土) -宮市在宅療養支援システム実務者会議懇親会
- 13日(火) アウン・デイケアセンター研修 村松、安福
- 14日(水) 運営委員会
- 15日(木) 第5回訓練的ミニデサ-ビス
 -宮寮ボランティア 鈴木、宮田
- 19日(月) -宮寮ボランティア 谷、白井
- 20日(火) アウン・デイケアセンター研修 浅菜、平田
- 21日(水) 運営委員会
 住民参加型愛知県連絡協議会準備会
- 22日(木) -宮寮ボランティア 吉川、塚本
 アウン・デイケアセンター研修 山田、川崎
- 23日(金) -宮市在宅療養支援システム実務者会議
- 24日(土) 日本ケアシステム協会センター長会議 東京
- 26日(月) -宮寮ボランティア 平子、鈴木
- 27日(火) アウン・デイケアセンター研修 浅菜、安福
- 28日(水) 運営委員会
- 29日(木) -宮寮ボランティア 小島、横田
 アウン・デイケアセンター研修 水野、山田



特別養護老人ホーム「一宮寮」の皆様と初詣で
 商店街を車椅子でお買い物

去る一月十九日(金)、大雪に見舞われ延期になっていた一宮寮の皆様と初詣で参加致しました。お天気に恵まれて「晴れ」。お参りもゆっくり出来ました。本町のアーケード街でお買い物や喫茶店や茶房での飲食は皆さんが最も楽しめるのひとつとされるところ。近頃では商店街の皆様も顔なじみで、車椅子でのお買い物にも普通の事としての対応が見られるようになってきました。今回、皆様は頭や肩に真新しい帽子とマフラートをつけておられました。会がお送りした手編みのマフラーと帽子でした。使った皆さんありがとうございました。また来年・・・・・



高齢者の為の
ジャガイもまんじゅうのおやき

- ◆材料(2人分)
- | | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 鶏ひき肉 | 50g | ねぎ(みじん切) | 大さじ2 |
| 油 | 少々 | ごま油、油 | 各少々 |
| みそ | 50g | じゃがいも | 200g |
| 砂糖 | 大さじ1 | A 白玉粉 | 50g |
| 片栗粉 | 大さじ1/2 | 塩 | 大さじ1/2 |
| しょうが汁 | 大さじ1 | 甘酢しょうが汁 | 少々 |

- ◆作り方
- 1) 鶏ひき肉を油でいため、みそと砂糖、ねぎのみじん切り、ごま油、しょうが汁を加え、水溶き片栗粉でまとめて四等分します。
 - 2) Aでじゃがいもまんじゅうのたねを作り、四つに分けて①を包み、丸く平らに形作ります。
 - 3) フライパンに油を薄くひき、②を両面からこんがり焼き、甘酢しょうが汁を添えます。

☆付け合わせには緑の野菜など。・・・・・

無影灯

[娘の結婚]

谷 一夫

いまさら言っても仕方がないが、あんな遠い大学に娘をやったのが間違いだったのである。人生でもっとも多感な時期を6年間も過ごせば、その土地や、人に愛着がわくのは当り前のこと。なんの不思議もない。そこに思いが及ばなかったのが甘いといえは甘かった。考えてみれば思い当たることがある。5年生までは卒後研修をどこにするかという話になると、名古屋の病院の名前しかでなかったのに、6年生になったらどうもはっきりしたことを言わなくなった。そのうちあるとき、電話口で突然泣き出して、「今までどうしても言えなかったんだけど、高知で結婚したい人がいるの。お父さん、ごめんなさい」と言うではないか。一瞬頭の中が真っ白になったが、落ち着け、落ち着けと自分に言い聞かせながら話を聞いてみた。相手は開業医の長男で同級生だという。とにかく夏休みに一度遊びに来てもらえと言ってその日は電話を切った。

母親が中学一年の娘を残して死んでから13年。卒業したら故郷に帰って、近くで暮らしてほしいという父親の気持ちは知り過ぎるほど知っている娘である。その娘がなまじな決心でこんな決断をする筈がないことは、父親が一番よく知っている。娘にすれば辛い選択だったに違いない、なかなか言い出せなかったその心根を思うと哀れであった。もしここで父親がじたばたしたら、苦しむのは娘である。顔で笑って心で泣いて、ここは一番、快く祝福してやるしかあるまい。父親にとっても苦しい決断であった。

ずいぶん先のことだと思っていた結婚式の日、思いがけぬ早さで現実のものとなった。純白のウェディングドレスに身を包んだ娘の手をとって、バージンロードをゆっくりと進む。祭壇の前には中井貴一風の好青年が待っている。娘の手を彼に託す。

娘が一人でよかった。三人もいたら、どうなることか。医師としての道を歩み始めた娘には、女性としての人生も待っている。娘の明るさと元気のよさが救いではあるが、父親の心配はつきない。

(谷医院院長)

3月の定例会は

3月4日(月) 午前9時45分～午後2時30分 思いやり会館

◆ケアをされた方は 9時45分～10時15分

◆定例会及びケア検討会 10時15分～2時30分

この日はケアはお休みです。利用会員さんご承知下さい。

協力会員さんは必ずご出席下さい。